名古屋産業大学　履歴書（外国人学生）

※全ての項目について正確に記入してください

受験番号	※記入しないでください

フリガナ		性別	男・女	国籍	
志願者氏名				生年月日	西暦　　年　　月　　日
現住所	（〒　　） TEL				
本国住所	（〒　　） TEL				
婚姻の有無	□　未婚　　□　既婚（配偶者氏名　　）				

学　歴（小学校から最終学歴まで西暦で記入）

学校種別	学校名	修業年限	入学年月	卒業年月
小学校		年	西暦　年　月	西暦　年　月
中学校		年	西暦　年　月	西暦　年　月
高等学校		年	西暦　年　月	西暦　年　月
大学		年	西暦　年　月	西暦　年　月 （学位　□有　□無）
大学院		年	西暦　年　月	西暦　年　月 （学位　□有　□無）
		年	西暦　年　月	西暦　年　月

日本語学習歴（在学期間は西暦で記入）

学校名	所在地	在学期間
		西暦　年　月～　年　月
		西暦　年　月～　年　月

日本語能力について（該当する試験の受験日を記入、JLPTの場合は級を選択）

試験名	受験日	結果
JLPT（日本語能力試験）	西暦　年　月	□　N２級　　□　N１級　　合格
EJU（日本留学試験）	西暦　年　月	200点以上　取得
J.TEST実用日本語検定	西暦　年　月	A-Cレベル試験 ： 600点以上　取得
その他 （　　）	西暦　年　月	

日本語以外の言語能力について（該当するものを記入）

言語	読む力	書く力	聞く力	話す力	A: 優 B: 良 C: 可 D: 不可
英語					
その他 （　　語）					

職　歴（就職年月日順に西暦で記入）　※アルバイトは記載不要

勤　務　先	勤　務　場　所	職　種	勤　務　期　間
			西暦 年　月～　年　月
			西暦 年　月～　年　月
			西暦 年　月～　年　月

日本への入国歴（西暦で記入）

日　本　で　の　在　留　期　間	在　留　資　格	入　国　の　目　的	滞　在　地
西暦 年　月～　年　月			
西暦 年　月～　年　月			
西暦 年　月～　年　月			

修了後の進路希望（該当するものを●にする）

◯ 進　学 ⟶ ◯ 大　学　院
◯ 大　学
◯ 短期大学
◯ そ　の　他（　　）

◯ 就　職
◯ 帰　国
◯ そ　の　他（　　）

記載のとおり相違ありません。

記　入　日	西暦　年　月　日
志　願　者　の　署　名	

日本語能力認定書

名古屋産業大学　学長殿

下記志願者は、貴学の出願資格に相当する日本語能力を有することを認定する。

志願者氏名		受験番号	※記入しないでください
生年月日	西暦　　年　　月　　日	**性別**	男　・　女
日本における最終出身学校			

試験名	取得している日本語能力 （該当するものにチェックしてください。）	受験申込 （該当するものにチェックをし、受験日または受験予定日を記入してください。）
JLPT（日本語能力試験）	□　N3合格	□　N２ 年　　月受験
EJU（日本留学試験）	□　180点以上取得	□　　年　　月受験
J.TEST実用日本語検定	□　D-Eレベル試験 500点以上取得	□　A-Cレベル試験 年　　月受験
その他 （　　）	□（　　）	

なお、日本語能力を証明する書類として、以下の書類を本認定書に添付する。

■　「取得している日本語能力」で選択した試験の合格証明書（写し可）

■　「受験申込」で選択した試験の受験申込済みであることを証明する書類（写し可）

■　日本語教育機関において、600時間以上の日本語学習を修了したことを証明する書類

└　□　成績証明書に日本語学習時間が記載されているため、添付を省略する。

※本紙を表紙として、添付する書類をホッチキス止めしてください。（左側3カ所）

作成者氏名	印		
作成者所属学校名			
現住所	（〒　　－　　）		
電話番号		**作成日**	西暦　　年　　月　　日

20260901版

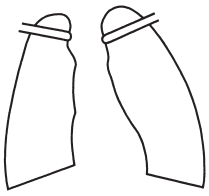
【その他の日本語能力を証明する試験】

試験名	取得している日本語能力
JPT（日本語能力試験）	・430点以上取得
日本語NAT-TEST	・3級合格し、かつ総合得点104点以上取得 ・2級合格
S-JEP（駿台日本語能力試験）	・450点以上取得

※上記の試験により日本語能力を証明する場合は、表面の「その他」欄に試験名および取得した点数を記入してください。

名古屋産業大学入学志願者健康診断書

			※ 受験番号		
本人記入欄	フリガナ 氏　名		男 ・ 女	生年月日	年　　月　　日
	現住所	〒 TEL（　　）　　－			

診察機関記入欄	診　断　事　項				
	視　力	右　（　　） 左　（　　）	エックス線検査	エックス線像	
	聴　力	右　正常・異常　（　　） 左　正常・異常　（　　） ＊聴力異常の場合、（　）内に聴力レベル（Hz•dB等）を記入してください。		直接 （撮影年月日）  間接 （撮影番号）	
				所見	
				健　康・要観察・要治療	
	主な既往症と罹患時の年齢				
	現在の主な疾病（入学後の健康管理上注意すべき疾病の有無とその内容）				
	その他特記事項				
	判　定	検査不要・要再検・要精密			
	診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。 年　　月　　日　　所在地 医療機関名 医師の氏名　　㊞				

〔注〕1. 本診断書は、出願締切日前３か月以内に作成したものに限ります。
　　2. ※欄は記入しないでください。

経　費　支　弁　書

名古屋産業大学　学長殿

志願者氏名		受験番号	※記入しないでください
生年月日	西暦　　年　　月　　日	**国籍**	

私は、このたび上記のものが日本国に入国時および留学中の経費支弁者になりましたので、下記のとおり経費支弁の引受け経緯を説明するとともに経費支弁について保証します。

記

1．経費支弁の引受け経緯

（経費支弁を引受けた経緯および志願者との関係について具体的に記載してください。）

2．経費支弁内容

経費支弁者は、上記のものの日本国滞在について、下記のとおり経費支弁します。

（1）学　　費（**確認してチェックしてください。**）

☐　入学金（100,000円）および学納金等（170,500円/半期）×8回（4年分）

（2）支弁方法（送金・振込等支弁方法を具体的に書いてください。）

また、支弁能力に関する証明書として下記の書類を提出します。（**該当するものにチェックしてください。**）

☐　残高証明書　　☐　収入証明書（年間の収入がわかるもの）

※（1）学費に記載している金額（入学金および学納金等半期分）を満たす書類を提出してください。

※日本語または英語以外の言語で作成された書類については、日本語または英語の翻訳を添付してください。

なお、在留期間更新許可申請の際には、送金証明書または本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

3．現在、他の外国人学生の経費（学費・滞在費）を負担していますか。（**該当するものにチェックしてください。**）

☐　していない　　☐　している

経費支弁者氏名（署名）		**志願者との関係**	
住所	（〒　　－　　）		
電話番号		**記入日**	西暦　　年　　月　　日